

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市左京老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく「通所介護事業」
- ・「介護予防通所介護事業」及び「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

- ・通所介護、介護予防型デイサービスの運営、サービス提供（食事、入浴、個別機能訓練、認知症予防プログラム、レクリエーション、送迎、相談業務などの提供）
- ・ケアプラン、通所介護計画書に基づく利用者の自立支援を目標としたサービスの提供と個別機能訓練計画に基づく心身の機能維持・向上を目的とした個別機能訓練の実施
- ・多種多様なレクリエーション、趣味活動等を全体、もしくは小集団で実践し、心身機能の向上や生活の活性化を目的とした支援プログラム（個別機能訓練）の提供
- ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連携
- ・サービス向上の取組とするユーザーアンケートの実施や情報公表、第三者評価の受診
- ・職員に対する法人研修や外部研修の積極的な参加
- ・認知症高齢者の積極的な受け入れや区社協協働の認知症の方とその家族の集い「おれんじサロンさきょう」の運営協力
- ・地域の事業者からなる、認知症サポートネットワークへの参画とイベントへの参加
- ・地域のボランティアの受け入れ、ボランティア団体による研修への講師派遣
- ・左京区事業者連絡会の例会と部会への参加と連携、及び連絡会主催の研修の参加
- ・地域ケア会議等への参加と地域包括支援センターや医療機関、サービス機関との連携
- ・中・高生の生き方探究チャレンジ体験やボランティア実習の受け入れと大学生の介護等体験実習の受け入れと世代間交流
- ・チャレンジ就労体験者の受け入れと支援学校の実習や就労支援授業の実習者の受け入れ

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

## 3 サービス提供状況

管理者：1名（併設事業所と兼務） 生活相談員：1名 看護職員：4名 介護職員：11名  
機能訓練指導員（看護師と兼務）：4名 調理員：5名 運転手：3名

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

### (1) 延べ利用者数(実績値)

7747 人

### (2) 実利用者数(実績値)

921 件

### (3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	87,095,089
利用料収入	4,991,334
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	46,888,044
収入計	138,974,467

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	92,888,487
事業費	14,854,040
委託費	0
小額修繕費	0
その他	31,224,201
支出計	138,966,728

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

令和5年1月にユーザーアンケート(利用者ご家族のご意見が反映できるサービス全般に関するアンケート)を実施。アンケート回収して集計。所内会議にて職員間で共有。ご本人、ご家族にアンケート結果と質問への返答などを書面にて配布。

### (2) 利用者満足度把握の結果

配布数76件、回収数36件(回収率47.4%)

主な項目

利用時間	: 満足 83%	やや満足 14%	やや不満 3%	不満 0%	無記入 0%
送迎	: 満足 83%	やや満足 14%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 3%
入浴	: 満足 69%	やや満足 16%	やや不満 0%	不満 3%	無記入 22%
食事	: 満足 80%	やや満足 8%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 11%
レクリエーション	: 満足 53%	やや満足 25%	やや不満 3%	不満 0%	無記入 19%
個別機能訓練	: 満足 52%	やや満足 17%	やや不満 6%	不満 0%	無記入 25%
プライバシーの保護	: 満足 64%	やや満足 8%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 28%
職員の対応	: 満足 83%	やや満足 6%	やや不満 3%	不満 0%	無記入 11%
設備について	: 満足 60%	やや満足 9%	やや不満 3%	不満 0%	無記入 29%

### (3) 意見等への主な対応状況

今年度も集計結果を基に職員会議にて、各項目ごとに前回結果との比較から改善点等を協議した。サービス向上委員会として業務改善会議を行い、協議して改善を行った。アンケート結果は頂いたご意見についての回答や改善点などの説明を添付して利用者全員に配布した。食事などの要望は調理員に伝えて改善を図ったり、入浴時間や送迎方法などの要望、レクリエーションの要望に応じた改善策を考案して実施した。

## 7 その他特記事項

(1)

7月、8月と事業所でコロナ陽性者が発生し合計で11日間、事業休止することとなった。下半期においても度々陽性者を確認したが、感染防止対策を徹底することでその後休止することもなく、事業運営への影響を最小限に留めることができた。また感染防止による利用控え等もあり、新規利用者数や稼働率等も低迷したが、積極的な加算算定等に努め、高い取得率を保つことができた。

(2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

- ・上半期は新型コロナによる影響が顕著で11日間に及ぶ事業休止もあった。下半期、直接的な影響は徐々に軽減したものの、コロナ陽性や濃厚接触による療養・待機、利用控え等も重なり新規利用者の獲得や稼働率といった面で低迷した。また季節的な体調不良による長期入院、長期入所、当日キャンセル等も例年以上に影響し業績に響く結果となった。
- ・利用者への援助や所内での活動も制限のある状況であったが、様々な工夫やコスト削減も意識し機能訓練やレクリエーションの実施等、利用者の要望に応えつつ、意欲や活性につながるようなプログラムの考案、実施に努めた。
- ・感染対策の徹底を図りながら、休止していた業務改善・ケース検討会議も再開し、職員間での意思疎通や所内研修の機会を増やした。職員間で情報交換を行い、業務改善や援助の見直しについての意識を共有した。
- ・サービス向上委員会、事故再発防止委員会を定期的開催し、職員全体で考察、検討する場を設けている。またアンケート結果や苦情等、利用者・家族からの意見を振り返り、対応や改善策等サービスの質の向上につながる方策について協議している。抽象的な文言ではなく、具体的な改善策を模索していく姿勢を確認し、事業所の風土として定着するよう努めている。
- ・定期的に所内での研修を行っている。サービスのマンネリ化や思考の停滞、現状維持といった滞りに囚われないよう、常に風通しのよい職場環境を念頭に取り組んでいる。
- ・要支援や要介護、重症度や介護量等に囚われることなく、利用者ニーズと自事業所のサービスや機能との整合性を純粋に見極め、分け隔てることなく受け入れている。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援していくことを使命と認識し、安心・安全をモットーにサービス提供している。
- ・地域の関係機関との連携や地域事業への参加、地域との交流を通じ地域の福祉拠点として目指してきた。今後も積極的に協働事業に参加する職員体制を確保し、安定した事業運営が継続できるよう努める必要がある。